



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、7-16 Sugawara-cho、Kawagoe、Saitama 350-0046 Japan

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 18-2

8月号

発行 2016年8月15日

Chartered 1998

会長	吉野 勝三郎	クラブ会長主題	「東日本区大会を成功させよう！」
副会長	林 京二	国際会長主題	「Our Future Begins Today 私たちの未来は今日より始まる」
	松川 厚子		
会計	山崎 純子	アジア会長主題	「Respect Y's Movement ワイズ運動を尊重しよう」
書記	森下 千恵子	東日本区理事主題	「For the Future, Act Today 明日に向かって、今日動こう」
		関東東部部長主題	「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

8月

あなたの重荷を主にゆだねよ。主はあなたを支えてくださる。主は従う者を支え、とこしえに動揺しないように計らってください。

(詩篇55篇22節)

Cast your cares on the Lord and he will sustain you;(Psalm 55:22)

児童の実例を紹介しながら、障がい児教育の重要性を力説されました。語り口は穏やかでも、確固とした信念のもとに語られる一言一言に重みを感じました。多くの人たちから、“佐々木先生は怖い”と言われます、という意味が良く分かりました。

又、先般、“津久井やまゆり園”で発生した入居者殺傷事件に関しては、埼玉YMCA浦和センター太田聡館長のお父さん、太田顕さんとは長年の親交があり、太田顕さんがこの“津久井やまゆり園”の創設当初から非常に情熱を持って関って来られたかを知っておられるようで、その話になると、涙ぐまれる姿に聞く者も深く感動しました。

ワイズメンズクラブは、“放課後等デイサービス”に集まる児童のための玩具購入のため、“紅あか資金”から献金していましたので、その資金で購入したおもちゃを見せてもらうこともできました。部長公式訪問として来訪された、関東東部の片山啓部長(茨城クラブ)に同行された、青木一芳ユース事業主査(千葉クラブ)、柿沼敬喜会員増強事業主査(東京グリーンクラブ)も、熱心に傾きながら、佐々木先生の卓話を聞いておられたのが印象的でした。

### 2016年7月の統計(7月30日)

在籍11名 出席者8名 出席率73%

### 8月例会のお知らせ

8月26日(金)午後4:00 川越センター

埼玉3クラブ合同例会として開催します。小谷全人総主事に、埼玉YMCAの現状と課題を話してもらった後、場所を移して納涼会として皆さんの交流を深めます。ぜひ、多くの皆さんの出席を期待します。

### 7月例会報告

吉野 勝三郎

卓話：佐々木仁子(ひろこ)先生

佐々木先生は、2002年からLDをはじめとする、障がい児教育で川越センターと関りを持って下さっていることを知りました。現在は、2014年から始まった、「放課後等デイサービス」の児童発達支援管理責任者として、川越センターにとって、無くてはならない貴重な先生です。卓話当日も、川越センターに集まった多くの児童を、専門家の立場から管理・指導して下さいました。

佐々木先生が、現役の教師であった時代に手がけた



佐々木先生を囲んで

## ワイズメンズクラブ国際協会第72回国際大会に参加して

利根川 恵子

台湾の台北市で開催された第72回国際大会は、台湾から約350名を含む約800名の参加者を得て、盛大に開催された。東日本区からの参加者は88名だそうで、西日本区と合わせ186名となり、地元の台湾に次いで2番目に大きなデレゲーションであった。川越からは牛村さん、松川さん、吉田さん、利根川の4名が参加し、所沢から大澤さんも加わり、私が理事として全体をみたり、通訳者として資料を揃えたりといった様々な場面で、細かいサポートをしていただいた。この場をお借りしてお礼を申し上げる。

また国際大会はいつもながら、世界のワイズと再会を喜び、新しい友人を作るまたとない機会である。今回もBF派遣でお世話になったインドのホストファミリーや役員の方々と再会が叶い、お互いの近況などを報告しあったが、特に私が理事となったことを祝福していただいたのは予想以上の喜びであった。新しい出会いも多くあり、フェイスブックの友達リクエストが急増している。

大会のプログラムはたいだい例年どおりで、1日目、開会式、国際会長・役員就任式、基調講演、直前国際会長主催晩さん会、2日目、国際書記報告、BF代表紹介、表彰、分科会、地域会議、次期国際会長主催晩さん会、3日目、分科会報告、IBC締結式、エクスカッション、国際会長主催晩さん会、4日目、国際ユースコンボケーション報告、次期国際大会プロモーション、閉会式であった。

しかし、BF代表紹介では吉田さんが他の3名の代表とともに全体で紹介され、表彰では東日本区、所沢クラブ、東京サンライズクラブ、甲府クラブ、長野クラブが台南地震支援金への感謝状を贈呈され、さらに今回初めて「国境を超えたエクステンション賞」が設けられて、モンゴル・ウランバートルワイズメンズクラブの設立に、IBCの香港・チム・チャツイクラブと協力して尽力した、東京武蔵野多摩クラブが表彰された。翌日のIBC締結式では東京クラブ、京都キャピタルクラブ、台北ダウントウンクラブがトライアングルIBCとなり、次期会長晩さん会での200名近い日本からの参加者の「花は咲く」の合唱があり、と連日、日本のワイズの存在感を実感した大会であった。最終日には、国際大会参加20回を数えた、千葉クラブ・青木一芳元国際会長がチャンピオン賞を受賞するなど、理事としても、一ワイズとしてもとてもうれしく、思い出深い大会となった。

ワイズメンズクラブの国際的な情勢を知るまたとない機会が、西村書記の概況報告である。今年の報告では、会員数が30,000を切り、27,000となったこと、国境を超えたエクステンションの努力もなされているが、1年で83クラブが誕生した一方で195クラブが消滅したこと、国際プロジェクトの献金は目標の60%しか達成できなかったことなど、厳しい現状が報告された。しかし、この困難な状況に甘んじているわけではなく、サテライトオフィスをタイ・チェンマイに設け、西村書記が転居をして事務を

行うことで書記の経費節減を図ったり、ワイズメンズクラブ設立100周年を祝う「Towards 2022」に関連して、アメリカ地域が2022年夏にカリフォルニア州サンディエゴを会場として100周年記念大会を計画する予定であることが発表されたり、韓国ではもうすぐメンバー数が10,000人を超える勢いがあることやタイ、中国でのエクステンションの可能性が高いことが示唆されたりと、ポジティブな方向性も多々あることが確認された。

また ジョアン・ウィルソン国際会長も所信表明を行い、YMCAへの支援、地域社会での奉仕といったワイズメンズクラブの原点を見つめ行動しようと呼びかけた。さらにCLEARをモットーに頑張ろうと提案した。CLEARとは、Communication, Leadership, Everyone, Action, Responsibilityのイニシアルを取ったもので、それぞれをキーワードとして各ワイズが行動すれば、必ずやよい結果に結びつくと訴えた。ウィルソン国際会長の歯切れのよいスピーチは、私も含め多くの参加者に新しい指標をもたらした。

終わりに800名の大会運営を笑顔と熱意でやり遂げた台湾区の実行委員、マーシャル、メンバーに心からお礼を申し上げる。本当にお疲れさまでしたとねぎらいたい。来年のアジア太平洋地域大会はタイのチェンマイ、2年後の国際大会は韓国の麗水である。また多くのワイズの友人との再会と新しい出会いを楽しみに参加したいと思う。川越クラブの方々もぜひ一緒に！



大会会場にて川越クラブ勢揃い



東日本区理事としてアジア議会にも出席。左からフィリピン地区・ポール・リム理事、西日本区・岩本悟理事、太平洋地区・クリスティン・バンダジー理事



## 第72回ワイズメンズクラブ国際大会（台湾・台北）に参加して ～フォーラム編～

松川厚子

8月5日午後1時30分からフォーラムがあり、皆あらかじめ申し込んでおいた5つの分科会に行きました。私は、地域奉仕について学びたいと思っていたのですが、語学力不足を考え、同じクラブの牛村さん、吉田さんと同じメネット会に出席しました。入り口で小さな湯呑茶碗をいただき、中に入ると静寂な中に琴の音が聞こえていて、茶碗に冷茶を注いでいただきました。日本的な和のもてなしを感じる事ができ、さすがに女性の分科会らしくきめ細かいと思いました。会場は、いくつかのグループに分かれていて、案内されたテーブルに着席しました。

委員長の挨拶がありましたが、通訳がいて、3か国語ぐらいは訳してくれるとのこと。心強いです。各国のクラブからの活動報告がありました。中でもアフリカからの活動報告は興味深かったのですが、通訳がなく内容がわからず残念でした。日本の西日本区の方から会費の使い道を説明してほしいとの質問がありました。隣の席の京都の方が、「ここ数年この問題が、全然進まないの。」と私にそっと話されましたが、国によっていろいろ事情が違うようで、一概に、同じ判断ができないようです。

その後台湾のお茶の飲み方をテーブルごとに教えていただきました。90℃で入れていただいた高山茶も蜂蜜味の紅茶もとてもおいしかったです。有難うございました。

それから、偶然前アジア会長御夫妻が、隣の席に着かれたので、交流させていただきましたが、現在のシャオアジア会長のお兄さんで、7歳まで日本で育ち、ハンセン病の研究をされたとのこと、現在のアジア会長は、ロールバックマラリアに力を尽くされたとのことのお話でした。私は、以前ノルウェー大会でシャオ会長とおなじグループになり、一緒にメンバーのお宅を訪問させていただいた際、アジア人が2人ということもあり、仲よくしていただき、大変お世話になりましたので、御縁を感じました。来年の東日本区大会にシャオ会長が、いらしてくださるそうです。

## 第72回ワイズメンズクラブ国際大会に参加して

### — 道中記その1 —

吉田公代

8月3日6時25分発羽田国際空港行きのリムジンバスに、川越クラブの利根川さん、牛村さんと私で、さあ～6日間のツアーの出発です。

羽田国際空港にて、メンバー23名と合流です。なかなか重厚なメンバーが集合しました。さて、どんな道中になるのか、ワクワクです。

午後、台北松山空港に無事到着、着後バスによる移動で、台湾のナイアガラと呼ばれている十分瀑布で、すこし涼やかに気分がひたり、十分駅で、自分で希望や願い事を書いたランタンを飛ばして楽しみました。

しかし、暑い～暑い～日差しが高い、汗だくで、観光をしました。

夕食は九份の海悦楼レストランで郷土料理をご馳走になりました。美味しかった？って。郷土料理と言うか家庭料理と言うかって感じでした。

九份は、山間にある坂道や階段の多い小さな町。山を背後に海に面した斜面に立つ家々、石段と薄暗い路地など、レトロな風情が、あふれる街です。（ガイドブックによれば）

狭くて、急な石の階段、お土産屋と、食べ物屋が無秩序に交差して、そしていろいろな臭いがして、暗くて沢山の観光客でわんさか賑わっている町でした。

台湾一日目の宿泊先は、エバーグリーンローレルホテル基隆。外観がグリーンで、都会的で、部屋も大きく、快適な一夜を過ごすことが出来ました。

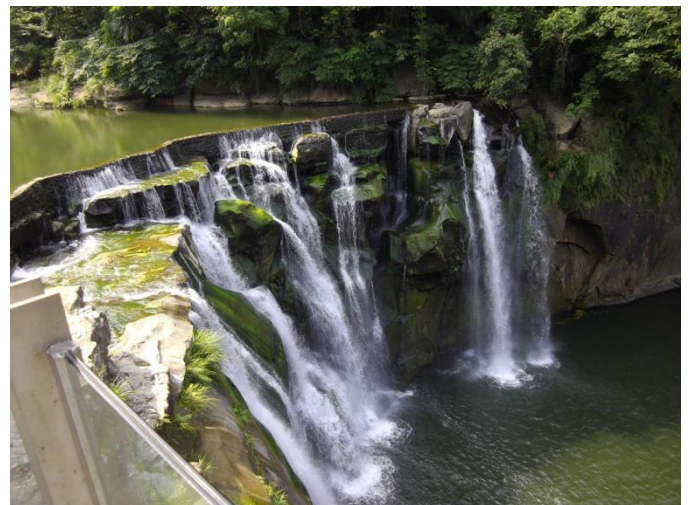
翌日は、午前中観光、基隆（中正公園）と野柳観光、波の浸食でできた奇岩の露出した海岸の見学でした。

8月の観光は、暑い～。暑い～。しんどいです。しかし、メンバー23名は、元気です。重厚な先輩たちは、暑さも何のその、強い。その源は、食欲が旺盛なことでしょうか。

午後は、台北へ戻り、国際大会の開会式に臨みました。開会式は、圓山大飯店グランドホテル。宮殿風の外観、ホテル皇帝を象徴する黄色い瓦屋根、朱色の柱、極彩色の装飾と派手なホテルで、びっくりでした。台湾メンバーの歓迎は、全身全霊での歓迎です。派手です。

私は、国際大会初めての参加で、驚きの連続でした。最初の驚きは、ターンテーブルのスーツケースを、掛け声と共に自分で降ろしたことです。私を手助けをと思っている矢先に、素早く反応した笑顔がチャーミングな高齢のメンバーでした。自分のことが出来ないのなら、頼らなければならないのなら、参加しないとのことでした。見事あつぱれです。まだまだ、驚きがあります。

次回その2に続きます。



十分瀑布 台湾のナイアガラ？

～2016 - 2017 年度会費振込のお願い～

★郵便局からの送金の場合は

送付先 ゆうちょ銀行  
記号 10300  
番号 61281371  
口座名 カワゴエワイズメンズクラブ

★ゆうちょ銀行以外からのお振込の場合は

店番 038  
種別 普通  
番号 6128137  
口座名 カワゴエワイズメンズクラブ

以上のとおりよろしくお願ひします。

## 川越ワイズメンズクラブ会長報告

### ◆熊本地震被災支援募金

6月25日の例会で決めた熊本地震被災支援の寄付金に対して、なお礼状と領収書を受け取りましたので、お知らせします。送金の手続きをしてくれた山崎純子（今年度会計）メンに感謝します。

寄付金額 50,000円

熊本YMCAは12程の活動拠点を有する、日本のYMCAの中でも横浜、大阪、東京などに比肩する有数のYMCAです。今回は、頻りに報道される益城町総合体育館の受託管理者として、大きな働きをしています。職員自身が被災しながらも、援助活動に当たっていると聞いています。今回は、川越クラブ各人から5,000円の寄付となりました。早い復旧を祈るばかりです。

### ◆YMCA東山荘100周年募金

6月25日の例会で決めた寄付金に対して、お礼状と領収書を受け取りましたので、お知らせします。送金の手続きをしてくれた山崎純子（今年度会計）メンに感謝します。

寄付金額 20,000円

2017年2月4日（土）・5日（日）建替えとなる本館で行われる予定の、ワイズメン東・西両区の交流会にぜひ参加しましょう。このような交流会は10年ぶりです。

吉野 勝三郎  
川越クラブ会長

## YMCA 報告

### <報告>

8月13日、ダイナミックサマーキャンプのオレゴンコース、シカゴコースともに無事に帰国いたしました。今年も多くの方にご参加いただき、またこの16日間を多くの方にお支えいただき、感謝申し上げます。埼玉YMCAのフェイスブックよりその様子をご覧ください。↓

<https://www.facebook.com/pages/%E5%9F%BC%E7%8E%89YMCA/488309934584041?ref=profile>

### <クローバークラブ川越 夏休み特別プログラム実施中 8月26日まで>

放課後等デイサービス「クローバークラブ川越」では、7月23日から8月26日まで夏休み特別プログラムを行っています。

この期間中、延べ150名の参加者がYMCAの日替わりプログラムに参加し、同世代の仲間とのかかわりの中でソーシャルスキルトレーニングを学びます。今年も流しそうめん、工場見学、マジック体験、博物館見学等々、夏休みならではのチャレンジを行っています。

残りわずかな夏休みですが、メリハリをつけながら楽しく活動していきたいと思ひます。

川越ワイズメンズクラブのみなさんより寄贈していただきましたゲーム等も昼食後のリラックスタイム等で大活躍しています。ありがとうございます。



### <予定>

9月12日（月）、第19回チャリティーゴルフが開催されます。場所は、飯能パークカントリークラブです。パンフレット等ご希望の方は、センターにございますのでお声がけください。皆さまのご参加をお待ちしております。